

1. 氏 名 ^{ふじ}藤 ^た田 ^{みつ}光 ^{のぶ}伸 (2019.3.20 現在)

2. 職 名 産学官連携研究員

3. 学 位 博士 (工学) 2002年3月 東京大学

4. 最終学歴

2002年3月 東京大学 大学院工学系研究科 産業機械工学専攻 博士課程 修了 (博士 (工学))

5. 専門分野

自動車事故工学、交通事故再現、ドライブレコーダ、事故車修理、自動車リサイクル

6. 受賞・認定等

1997年3月 1996年度 日本機械学会 島山賞 受賞

2003年3月 ヒューマンインタフェース学会 第3回論文賞 (2003年度) 受賞

2010年5月 自動車技術会 JSAE プロフェッショナルエンジニア (事故損傷解析/損傷診断) 認定

2014年9月 (一社) 日本機械学会 設計工学・システム部門 D&S コンテスト優秀表彰

2017年1月 自動車技術会 JSAE フェロエンジニア (事故損傷解析/損傷診断) 認定

7. 学 会

公益社団法人 自動車技術会 正会員

2004年12月～2006年3月 自動車技術会ヒヤリハットWG連絡会 委員

2006年12月～2012年3月 自動車技術会構造形成技術部門委員会 委員

2011年4月～2012年9月 自動車技術会ドライブレコーダデータ活用研究会 委員

2013年10月～2017年3月 自動車技術会ドライブレコーダデータ活用研究会活用実践WG委員

一般社団法人 日本機械学会 正会員

一般社団法人 日本交通科学学会 会員

日本交通法学会 会員

日本法科学技術学会 正会員

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会 正会員

社団法人 日本品質管理学会 正会員

8. 資 格

一般社団法人 日本損害保険協会登録 2級技術アジャスター

一般社団法人 日本損害保険協会登録 特殊車アジャスター

一般社団法人 日本損害保険協会登録 2級損害保険鑑定人

ボッシュ株式会社 CDRアナリスト (Crash Data Retrieval Analyst) 認定資格

9. 業 績 一 覧

[論文]

- 1) Takuya Okamoto, Mitsunobu Fujita, Takao Mori, Motohiro Tamaki, Akihiro Hayakawa and Masato Inoue:
Proposal of an Appropriate Repair Option from the View Point of Product Value, Environment Impact and
Cost: Case Study of Automobile Engine; Advanced in Transdisciplinary Engineering: Transdisciplinary En

- gineering Methods for Social Innovation of Industry 4.0, 7,pp.927-935, 2018/08
- 2) 藤田、ポンサトーン、永井：ヒヤリハットデータベースによる追突ヒヤリハットの分析 — 低速および高速の追突ヒヤリハット発生状況の比較 —：自動車技術会論文集 Vol.46 No. 6, pp.1163-1169, 2015-11
 - 3) 藤田光伸：一次元衝突の衝突速度推定における車体強度の影響：自動車技術会論文集 Vol.43 No. 3, pp.729-735, 2012-5
 - 4) 藤田光伸：衝突速度の推定 — 停止車両への直角偏心衝突における有効衝突速度の導入 —：自動車技術会論文集 Vol.42 No.2, pp.373-378, 2011-3
 - 5) 藤田光伸：自動車事故における部品の落下についての研究（第2報） — 衝突実験に基づく部品落下機序の分類とその特徴 —：自動車技術会論文集 Vol.41 No.5, pp.993-998, 2010-9
 - 6) 藤田光伸：自動車事故における部品の落下についての研究（第1報） — 一次元衝突実験による部品落下機序の分析 —：自動車技術会論文集 Vol.40 No.5, pp.1145-1151, 2009-9
 - 7) 藤田、道辻、小竹、鎌田、永井：ドライブレコーダを用いたヒヤリハット分析に関する研究（第2報） — 収集データによる分析手法とデータベースの構築 —：自動車技術界論文集 Vol.38, No.4, pp.145-150, 2007-7
 - 8) 藤田、小竹、鎌田、道辻、永井：ドライブレコーダを用いたヒヤリハット分析に関する研究（第3報） — データベースを用いた追突ヒヤリハット分析 —：自動車技術界論文集 Vol.38, No.4, pp.151-156, 2007-7
 - 9) M.Fujita, M.Kamata and K.Miyata, Clarification of Cognitive Skill in Mechanical Work and its Application; INTERNATIONAL JOURNAL OF HUMAN-COMPUTER INTERACTION, 18(1), 105-124 (2005) (English), 2005-2
 - 10) 藤田、鎌田、宮田：機械操作における認知能力の熟練技能解明とその応用に関する研究；ヒューマンインタフェース学会論文誌 Vol.4 No.1, pp.67-77, 2002; 2002年2月
 - 11) 藤田、鎌田、宮田；機械操作における技量の抽出に関する研究（第2報, 操作時の認知能力の解明および操作支援への応用手法の提案）；日本機械学会論文集 C 編, Vol.68, No.666, pp.547-554, 2002-2
 - 12) 藤田、鎌田、宮田；機械操作における技量の抽出に関する研究（第1報, 視覚情報からの認知能力の抽出）；日本機械学会論文集 C 編, Vol.67, No.653, pp.201-208, 2001-1
 - 13) 藤田、鎌田、宮田：操作量からの操作者の推定およびそれによる操作系の最適化に関する研究・第一報：単一作業における操作者推定；ヒューマンインタフェース学会論文誌 Vol.2 No.3, pp.37-44, 2000；2000年8月

[特許]

- 1) 株式会社自研センター：藤田、川崎、上園、斉藤：作業指数データ生成システム及び車両作業費用見積システム、コンピュータプログラム：特許第 5166143 号（特開 2010-015457），2012-12-28
- 2) 株式会社小松製作所：藤田光伸、西郷隆一、大川幸男：車両情報収集システム及び車両情報収集方法：特許第 4563148 号（特開 2006-148290），2010-8-6

[学会発表]

- 1) Takuya Okamoto, Mitsunobu Fujita, Takao Mori, Motohiro, Tamaki, Akihiro Hayakawa and Masato Inoue, Proposal of an Appropriate Repair Option from the View Point of Product Value, Environment Impact and Cost: Case Study of Automobile Engine, Proceedings of 25th International Conference on Transdisciplinary

- y Engineering (TE2018), Modena, ITALY, (2018.7.3-6)
- 2) 藤田光伸：衝突されても車動がない車両の乗員の身体の運動：日本機械学会 第 26 回 交通・物流部門大会 (TRANSLOG2017) ポスターセッション 1004、2017 年 12 月 4 日
 - 3) 岡本拓也, 藤田光伸, 森孝男, 玉木基裕, 早川明宏, 井上全人：自動車リユース部品のトータルパフォーマンス評価 (エンジンおよびフロントバンパへの適用)：日本設計工学会 2017 年度秋季研究発表講演会、2017/10/08
 - 4) Masato Inoue, Sota Takahashi, Mitsunobu Fujita, Takao Mori, Motohiro Tamaki, Junji Sugimoto, Katsumi Ishizuka, Katsumi Oppata, Shigeyuki Suzuki, Kenroku Kobayashi, Hironori Tani and Akihiro Hayakawa, A Case Study in Quantitative Estimation of the CO2-Emissions Reduction from 50 Major Reuse Parts for Japanese Automobile based on Data of Vehicle Inspection Certificate, The 12th Biennial International Conference on EcoBalance (EcoBalance 2016), Kyoto, JAPAN (2016.10.3-6)
 - 5) 藤田光伸：東京農工大学ヒヤリハットデータベースの現状と研究活動の紹介：自動車技術会 2016 年フォーラム [GIA フォーラム] ドライブレコーダ活用の最前線(20164270)、2016 年 5 月 25 日
 - 6) 高橋颯太, 岩崎誠和, 藤田光伸, 森孝男, 鈴木廉, 鈴木雄大, 玉木基裕, 杉本淳二, 石塚克美, 乙幡勝三, 鈴木成幸, 小林謙六, 谷洋紀, 早川明宏, 井上全人：温室効果ガス排出削減量評価の算定および公開事例ー自動車リユース主要 50 部品ー：第 11 回日本 LCA 学会研究発表会、2016/03/02
 - 7) 藤田、高田、武藤、駒形、金子、石川、吉村、松島：自動車の走行時に飛石によって車体に生じる傷の調査研究：日本法科学技術学会第 21 回学術集会、2015 年 11 月 12 日
 - 8) Sota Takahashi, Masato Iwasaki, Mitsunobu Fujita, Takao Mori, Motohiro Tamaki, Akihiko Sano, Shigeyuki Suzuki, Kenroku Kobayashi, Hironori Tani, Akihiro Hayakawa and Masato Inoue, Quantitative Estimation of the CO2-Emissions Reduction from Reuse Automobile Parts, International Conference on Design and Concurrent Engineering (iDECON 2015), Tokushima, JAPAN (2015.9.6-7)
 - 9) M.Fujita, P.Raksincharoensak, M.Nagai: Comparison between Low-Speed and High-Speed Rear-End Incidents Using a Near-Miss Incident Database, 12th International Symposium on Advanced Vehicle Control, p.5 15-520, September 22-26, 2014
 - 1 0) 高橋颯太, 岩崎誠和, 藤田光伸, 森孝男, 玉木基裕, 佐野明彦, 谷洋紀, 早川明宏, 井上全人：自動車解体工場調査に基づくリユース部品使用時の環境負荷削減効果：第 24 回日本機械学会 設計工学・システム部門講演会、2014/09/18
 - 1 1) Masato Iwasaki, Mitsunobu Fujita, Takao Mori, Akihiko Sasaki, Motohiro Tamaki, Akihiko Sano, Hironori Tani, Akihiro Hayakawa and Masato Inoue, Environmental Load Evaluation of Reuse Parts for Automobiles, The 3rd International Conference on Design Engineering and Science (ICDES2014), pp. 27-30, Pilsen, CZECH (2014.8.31-9.3)
 - 1 2) 藤田光伸・永井正夫：車体の損傷データとヒヤリハットデータの比較に基づく追突事故状況の分析：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.102-13、2013 年 10 月 23 日
 - 1 3) 藤田光伸・永井正夫・道簾繁樹：ヒヤリハットデータベースによる高速追突事故の分析：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.37-13、2013 年 5 月 22 日
 - 1 4) 藤田光伸・道簾繁樹・斎藤一則・河村賢二：ヒヤリハットデータベースの分析結果に基づく緊急自動ブレーキ試験の検討：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.3-12、2012 年 5 月 23 日
 - 1 5) 藤田光伸：車対車追突実験結果からの考察：日本法科学技術学会第 17 回学術集会、2011 年 11 月 18 日

- 1 6) 藤野、川崎、池田、藤田：非定型な事故車修理の作業時間を記録するインタフェースの検討：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.143-11、2011 年 10 月 14 日
- 1 7) 藤田光伸：交通事故再現のための実験・分析：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.33-11、2011 年 10 月 14 日
- 1 8) M.Fujita: Analysis of Low-speed Rear-end Collisions using Near-miss Incident Database, First International Symposium on Future Active Safety Technology toward zero-traffic-accident, September 5-9, 2011
- 1 9) 藤田、森、井上、片桐、東海林、橋本：ユーザ価値を含む自動車の多面的評価：社団法人 日本機械学会 M&M2011 カンファレンス, 2011 年 7 月 16 日
- 2 0) 藤田光伸：自動車事故における部品の落下についての研究（第 3 報）－破損部品の停止位置を推定するシミュレーションモデルの構築－：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.48-11、2011 年 5 月 19 日
- 2 1) 藤田、池田：自動車車体修理における高張力鋼板の切削性調査：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.157-10、2010 年 10 月 1 日
- 2 2) 藤田光伸：衝突速度の推定－停止車両への直角偏心衝突における有効衝突速度の導入－：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.128-10、2010 年 9 月 30 日
- 2 3) 藤田、森、井上、片桐、東海林、橋本：トータルパフォーマンス評価の自動車への適用：自動車技術会シンポジウム No.01-10 「車体構造形成における CO2 削減の新展開－資源循環と車体軽量化－」, 2010 年 7 月 21 日
- 2 4) 藤田光伸：自動車事故における部品の落下についての研究（第 2 報）－衝突実験に基づく部品落下機序の分類とその特徴－：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.18-10、2010 年 5 月 19 日
- 2 5) 藤田光伸：衝突速度の推定－車体の変形強度を考慮した推定手法と追突事故への適用－：学術講演会前刷集 No.18-10、2010 年 5 月 19 日
- 2 6) 藤田光伸：交通事故再現におけるハンドル操舵角推定の一手法：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.97-09、2009 年 10 月 7 日
- 2 7) 藤田光伸：自動車事故における部品の落下についての研究（第 1 報）－一次元衝突実験による部品落下機序の分析－：自動車技術会 学術講演会前刷集 No.29-09、2009 年 5 月 20 日
- 2 8) Mitsunobu Fujita, Statistical Method for Deriving Standard Work Time of Refinishing Vehicles and its Application; Proceedings of IASC2008 Joint Meeting of 4th World Conference of the IASC and 6th Conference of the Asian Regional Section of the IASC on Computational Statistics & Data Analysis, pp461-470, 2008/12/05-08
- 2 9) 藤田光伸：自動車の補修塗装作業における標準時間導出方法の提案とその適用例：社団法人 日本品質管理学会 第 88 回研究発表会（関西支部）発表要旨集, p43-46, 2008/09/19
- 3 0) 森山、高地、山田、深谷、藤田：カラーコードターゲットを用いた自動三次元画像計測：光計測シンポジウム 2008 講演論文集, pp43-46, 2008/06/11
- 3 1) 藤田光伸：自動車補修塗装における塗装品質と研き時間の関係：日本塗装技術協会 第 23 回 塗料・塗装研究発表会講演予稿集, pp42-46, 2008/03/07
- 3 2) 藤田光伸：補修塗装作業との関連性に基づく自動車塗装品質の定量化：社団法人 自動車技術会 学術講演会前刷集 No.14-07, pp.9-14,2007/05
- 3 3) 山川、小竹、井上、藤田、鎌田：重度障害者を対象とした電動車いす力覚入力システムの開発，福祉工学シンポジウム， pp. 39-42 (2006)
- 3 4) 藤田、岡田、小竹、鎌田、道辻、永井、前田：ドライブレコーダを用いたヒヤリハットデータベース

- スの構築と分析：社団法人 自動車技術会 学術講演会前刷集 No.38-06, pp.17-20,2006/05
- 35) 重枝、道辻、永井、藤田、小竹、鎌田、前田：ドライブレコーダを活用した予防安全装置の動作状況・動作頻度の分析：社団法人 自動車技術会 学術講演会前刷集 No.38-06, pp.25-28,2006/05
- 36) 松下、井上、鎌田、小竹、藤田：臨床応用にむけた電動車いすシミュレータの開発：第3回生活支援工学系学会連合大会，1A1-B4, 2005/12/8-9
- 37) 井上、諏訪、酒井、NINISS、鎌田、小竹、藤田：重度障害者の自立移動実現に向けた技術開発：第3回生活支援工学系学会連合大会，2A2-A2, 2005/12/8-9
- 38) 藤田、鎌田、小竹：微少な力で電動車いすを操作できる力覚入力システムの開発：第3回生活支援工学系学会連合大会，2A2-A5, 2005/12/8-9
- 39) 藤田、小竹、鎌田、道辻、永井、石川、前田：簡易型ドライブレコーダによるヒヤリハットデータ収集と分析：社団法人 自動車技術会 学術講演会前刷集 No.54-05, pp.9-12,2005/06
- 40) 道辻、永井、小竹、藤田、鎌田、石川、前田：高性能型ドライブレコーダによるヒヤリハットデータ収集と分析：社団法人 自動車技術会 学術講演会前刷集 No.54-05, pp.13-16,2005/06
- 41) 藤田、鎌田、宮田：機械操作における効果的なアシスト手法に関する研究；第11回インテリジェント・システム・シンポジウム講演論文集,pp.543-548,2001
- 42) M.Fujita, M.Kamata and K.Miyata, A Study on Skill Extraction in the Machine Operation., 2000 IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics,pp.1260-1264, 2000
- 43) 藤田、鎌田、宮田：機械操作における効果的な技量向上手法に関する研究～第一報：機械操作を模擬したゲーム操作における考察～；第9回インテリジェント・システム・シンポジウム講演論文集, pp.85-88,1999
- 44) 藤田、鎌田、宮田：操作量からの操作者の推定およびそれによる操作系の最適化に関する研究・第一報：単一作業における操作者推定；ヒューマンインタフェース学会ヒューマンインタフェースシンポジウム'99 論文集,pp.647-652,1999

[記事・著書]

- 1) 自動車整備技術 車体整備（平成27年12月1日改訂版、監修：国土交通省自動車局）（教科書改訂版編纂委員）、日本自動車車体整備協同組合連合会, 2015-12
- 2) 藤田光伸、伊藤秀孝、大島大介：続・JKC 調査研究レポート⑤ 「衝突における制動有無の影響」：自研センターニュース 2013年8月号, 2013-8
- 3) 藤田光伸、伊藤秀孝、熊谷彰宏：続・JKC 調査研究レポート④ 「極低速衝突実験（その3）」：自研センターニュース 2012年10月号, 2012-10
- 4) 藤田光伸、藤野一郎：続・JKC 調査研究レポート③ 「修理作業時間の集計を効率化する計測システム」：自研センターニュース 2012年8月号, 2012-8
- 5) 藤田光伸、伊藤秀孝、熊谷彰宏：続・JKC 調査研究レポート② 「極低速衝突実験（その2）」：自研センターニュース 2012年7月号, 2012-7
- 6) 藤田光伸、伊藤秀孝、熊谷彰宏：続・JKC 調査研究レポート① 「極低速衝突実験（その1）」：自研センターニュース 2012年6月号, 2012-6
- 7) 藤田光伸：JKC 調査研究レポート 第5回 「車両火災」：自研センターニュース 2012年3月号, 2012-3
- 8) 藤田光伸：JKC 調査研究レポート 第3回 「衝突実験写真集第3版」：自研センターニュース 2011

年 12 月号, 2011-12

- 9) 藤田光伸：JKC 調査研究レポート 第 2 回 「ドライブレコーダのデータを用いた低速追突事故の分析」：自研センターニュース 2011 年 9 月号, 2011-9
- 10) 藤田光伸：JKC 調査研究レポート 第 1 回 「衝突事故で破損・落下する部品の挙動」：自研センターニュース 2011 年 7 月号, 2011-7
- 11) 衝突実験写真集第 3 版（編集者）：自研センター, 2011-5

以上